

### 津波からの避難のポイント

強い揺れや長い時間の揺れを感じたら、まずは落ち着いて身の安全を守りましょう。「地震の揺れの大きさ」≪津波の大きさ≫ではありません。津波の危険地域では、揺れが小さくても、揺れを感じなくても細心の注意が必要です。避難のポイントは次のとおりです。

### ◆津波警報・注意報が発表されたらすぐに避難

田原市では、津波予報が発表されると、防災行政無線が自動的に作動し、市内全域に放送が流れます。すぐに海岸や河川付近から離れ、高台など安全な場所に避難しましょう。



▲赤色回転灯付き 防災行政無線

### ◆遠くよりも高い所に避難

すでに浸水が始まってしまった場合などは、遠くに避難するよりも、近くの高い場所に避難しましょう。

### ◆歩いて避難

車で避難する人たちで渋滞が発生

し、逃げ遅れてしまいます。原則、歩いて(走って)避難しましょう。

※ラジオやテレビなどで正しい情報を入力し、警報・注意報が解除されるまでは注意しましょう。

### 地域ぐるみの避難支援体制

泉校区では、泉保育園児の避難を支援するため、近隣の8事業所を「避難誘導救護班員」として任命しています。これは、職員だけでは園児を短時間で避難させることが困難なことから、周辺の事業所と協力して、園児を乗せたリヤカーを引くなど、地域の支援体制を確立したものです。



▲リヤカーを使った津波避難訓練の様子(泉保育園)

### 津波避難マップで安全に避難

津波避難マップは、市内全20校区中、津波の恐れのある16校区(地区)で作成し、全世帯に配布しました。防災対策課や該当する校区の市民館などにも置いてありますので、ご活用ください。



### ●安心安全ほっとメールの活用を

「安心安全ほっとメール」は、携帯電話やパソコンに田原市から「防災情報」のほか、「防災行政無線情報」「防犯情報」をお届けするサービスです。災害時に備え、まだ登録をされていない方は、下記のアドレスに空メールを送り登録しましょう。

✉ tahara.anshinanzen@fofa.jp

※携帯電話の場合は右記のQRコードから登録できます。



### ●災害用伝言ダイヤル

災害発生時(震度6弱以上の地震など)には、NTTの伝言ダイヤルサービスが稼働します。家族や友人などが被災した場合の安否の確認や連絡などに活用できるサービスで、東日本大震災が起きた際にも、多くの方が利用しました。

### 災害用伝言ダイヤル(171)

● 録音方法 (被災した人)	● 再生方法 (聞きたい人)
1 「171」をダイヤル	1 「171」をダイヤル
2 「1」をダイヤル	2 「2」をダイヤル
3 自宅の電話番号を市外局番からダイヤル	3 安否確認したい人の電話番号を市外局番からダイヤル
4 30秒の間に録音する	4 再生されます(録音されている場合のみ)

※災害用伝言ダイヤルの体験利用ができます。詳しくはNTT西日本のホームページの「災害用伝言ダイヤル(171)」のページをご覧ください。

http://www.ntt-west.co.jp/dengen/taiken/

災害はいつ起きるかわかりません。日ごろから家族で話し合い、災害に対する備えをしておくことが大切です。自分の住んでいる地域の避難所や避難ルートなどを確認しておきましょう。

市では、過去の教訓を生かしながら、津波による犠牲者ゼロを目指し、防災対策を進めていきます。

### ▼防災対策課

☎ 23局3548 FAX 23局0180

✉ saigai@city.tahara.aichi.jp